

計画事業番号	00039	事務事業名	保健衛生推進支援事業	担当部署	保健福祉部保険年金課	電話	2112
--------	-------	-------	------------	------	------------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	国民健康保険法第82条 北広島市健康づくり事業補助金交付要綱 元気フェスティバル事業補助金交付要綱				
事務事業開始年度	昭和34年	個別計画等					
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	特別会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章) 支えあい健やかに暮らせるまち (第 1 節) 健康づくり・地域医療の充実 (施策 4) 国民健康保険事業の適正な運営
2 対象	国保被保険者(将来的な加入も考慮すると、市民全員)
3 目的と内容	健康づくりや健康意識の高揚を図るため、健康づくり・体力づくりを実施する実行委員会等への助成を行う。 また、市民を対象としたインフルエンザ予防接種および肺炎球菌ワクチン予防接種事業に対し、助成を行い支援する。 【前回推進計画からの変更点】 ・インフルエンザおよび肺炎球菌ワクチン接種者の増加による増額。 ・地域健康づくり事業補助金は、H28年度から社会教育課の事業へ移管。
4 実施内容(手段)	28年度まで ①健康推進支援事業(元気フェスティバル、歩くスキーの集い) 補助金の交付 ②インフルエンザ予防接種等事業(65歳以上の国保被保険者分の助成) ③啓発活動(健康川柳を募集、健康情報展で作品展示、優秀作に賞品を贈呈、次年度の国保通知用封筒に使用)
	29年度 昨年度と同様。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
健康推進活動や健康づくりなどを推進する団体及び実行委員会等に補助金を交付。インフルエンザ予防接種事業等を支援。	①健康推進支援事業 2団体へ補助 ②インフルエンザ予防接種 2,127人 肺炎球菌予防接種 611人 ③健康川柳 54作品 受賞4作品	健康づくり、体力づくりを推進する団体及び実行委員会等に補助金を交付。インフルエンザ及び肺炎球菌予防接種事業等を支援。		健康づくり、体力づくりを推進する団体及び実行委員会等に補助金を交付。インフルエンザ及び肺炎球菌予防接種事業等を支援。		健康づくり、体力づくりを推進する団体及び実行委員会等に補助金を交付。インフルエンザ及び肺炎球菌予防接種事業等を支援。	

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度2次評価	要検討	1次評価のとおりとする。(運動機会の提供や予防接種、健康意識の啓発は、健康推進活動として効率的な事業である。平成30年度から始まる新たな国保制度を見据え、医療費適正化の取組み評価をする「保険者努力支援制度」の評価指標が示されたことから、「医療費適正化事業」との統合を含めた事業内容の検討が必要である。また、予防や健康づくりのための市民に対するインセンティブの提供となる事業の新たな検討も必要である。)		
1次評価	要検討	運動機会の提供や予防接種、健康意識の啓発は、健康推進活動として効率的な事業である。平成30年度から始まる国保の広域化に伴う北海道の国保運営方針に基づき、国が示している医療費適正化の取組みを評価する「保険者努力支援制度」を踏まえた事業内容の検討が必要である。		
2次評価	要検討	1次評価のとおりとする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			9,663		10,065		10,019		10,019	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	4,593		4,618		4,791		4,791	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	5,070		5,447		5,228		5,228	
		一般財源	0		0		0		0	
	① 合計	9,663		10,065		10,019		10,019		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	1,680	0	1,680	0	1,680	0	1,680	0	
総事業費①+④			11,343		11,745		11,699		11,699	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①元気フェスティバル	目標値	回	1	1	1	1
		実績値		1			
	②体育協会 (歩くスキー)	目標値	回	1	1	1	1
		実績値		1			
③インフルエンザ接種者のうち65歳以上の国保加入者	目標値	人	2,100	2,100	2,100	2,100	
	実績値		2,127				
④	目標値						
	実績値						
成果指標	①元気フェスティバル(参加数) 【指標の定義(算式等)】	目標値	人	3,500	3,500	3,500	3,500
		実績値		3,000			
	②体育協会(歩くスキー) 【指標の定義(算式等)】	目標値	人	100	100	100	100
		実績値		68			
	③	目標値	人				
		実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
<p>妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> 税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? 上位の施策への貢献度は大きいですか? 特定の団体の利益に偏っていませんか? <p>【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入</p>	3	事業の実施は国民健康保険法に「保険者義務として、被保険者等の健康の保持・増進のために必要な事業の実施を行うように努めなければならない」と規定されており妥当である。また、市町村国保の性格上、全市民を対象にした事業展開となっており貢献度も高い。
<p>達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画どおりに成果があがっていますか? <p>【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入</p>	3	健康づくりのイベント、予防接種の状況とも計画どおりであり、事業実施と参加者数により、成果が上がっていると捉えている。今後は、国が示している「保険者努力支援制度」の評価指標を踏まえた保健事業の実施が必要である。
<p>成果向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果が現状よりも向上する可能性がありますか? <p>【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入</p>	2	医療費分析を参考に、効率的な事業を模索し、被保険者の健康意識の向上を図る保健事業の展開の必要がある。また、事業実施には国保だけでなく、市全体での健康づくり事業の取り組みが必要である。
<p>経済性</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? <p>【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入</p>	3	現状の事業は補助活用に努めており、コストの削減は困難である。ただし、事業実施は被保険者の健康寿命の延伸と将来的な医療費の削減につながるものである。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	---	------------------------------------

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--	--

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 39-1

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	元気フェスティバル事業補助金		
交付先の名称 及び代表者名	元気フェスティバル実行委員会 実行委員長 川島 光行	設立年	平成16年
構成員(団体)数	47団体(平成28年9月27日開催実績)		(29年3月末現在)
交付先団体等の 活動目的	「出会い」「交流」「生きがい」をキーワードに市民が主体的に学習した成果を生かし、自発的な活動による交流や地域の課題を考えその解決に向けた行動に結びつける地域づくり、まちづくり		
交付先団体等の 活動内容	元気フェスティバルの当日の参加・開催運営及び、開催に向けた実行委員会への参加、運営委員会の一部参加		
事務局の状況 (28年度)	<input type="checkbox"/> 補助団体にある <input checked="" type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況(28年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	225	225	225	
	繰越金				
	収 入 合 計 (B)	225	225	225	
支 出	報償費	1	3	3	
	需用費	32	28	28	
	役務費	8	23	23	
	委託料	51	49	49	
	使用料及び賃借料	133	122	122	
	支 出 合 計 (C)	225	225	225	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
	全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)	100 %	100 %	100 %	
	補助・交付金の対象経費(項目)	上記支出項目	上記支出項目	上記支出項目	
	補助・交付金の対象経費(金額)(D)	225	225	225	
	対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)	100 %	100 %	100 %	
	補助・交付金の算出根拠	実行委員会独自歳入がないため、開催に係る経費総額を補助対象経費とする。			

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 39-2

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	歩くスキーの集い事業補助金		
交付先の名称 及び代表者名	特定非営利活動法人 北広島市体育協会 会長 加々見 盛幸	設立年	昭和41年
構成員(団体)数	24団体 2,600名		(29年3月末現在)
交付先団体等の 活動目的	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりを進め、他のスポーツ団体と連携し、スポーツの普及に向けた生活・社会環境づくりと、健康増進に寄与する。		
交付先団体等の 活動内容	1. スポーツ振興事業 2. スポーツ教室 3. スポーツの啓蒙と促進事業 4. 健康づくり事業 5. 体育施設の管理・運営に係わる受託事業		
事務局の状況 (28年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況(28年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	159	159	159	
	参加料	29	30	30	
	負担金	29	28	28	
	繰越金				
	収 入 合 計 (B)	217	217	217	
支 出	諸謝金	25	25	25	
	報償費	39	40	40	
	需用費	93	92	92	
	賃借料	60	60	60	
	支 出 合 計 (C)	217	217	217	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
	全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)	73 %	73 %	73 %	
	補助・交付金の対象経費(項目)	上記支出項目	上記支出項目	上記支出項目	
	補助・交付金の対象経費(金額)(D)	215	215	215	
	対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)	74 %	74 %	74 %	
	補助・交付金の算出根拠	歳出経費総額を補助対象経費として算入。			